

ひきこもりからの脱出

—当事者に寄り添い支援するためには—

現在、ひきこもり当事者は、内閣府の調査によると全国で70万人とも言われています。ひきこもりの問題は、外からは見えにくい故に、これまであまり包括的な支援の手が伸びてきませんでした。しかし当事者、家族双方の高齢化による経済的な困窮や、孤立化、自死念慮など、長期化するにつれて新たに深刻な問題が顕在化しています。当事者、そして家族への支援は、もはや社会全体で取り組むべき喫緊の課題といえるでしょう。

本セミナーでは、若者を取り巻く今日的な社会状況を踏まえ、当事者と支援者の声に耳を傾けながら、第三者による当事者とその家族の支援のあり方について考えるものです。また、お寺という精神的空間・公共財を活かした支援の可能性についても考えます。

日時 2011年3月30日(水)

会場 築地本願寺 講堂

東京都中央区築地 3-15-1

- 東京メトロ日比谷線 築地駅徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅徒歩5分

講師 稲葉 剛
(NPO法人自立生活サポートセンター もやい代表理事)
和田重良
(くだけけ生活舎主宰・NPO法人くだけけ会代表)

日程

- 13:30 開会
- 13:50 発題① 稲葉 剛
- 14:20 発題② 和田重良
- 15:00 当事者4名による体験談
- 16:00 当事者×発題者によるセッション
- 16:30 閉会

参加費 無料

主催：財団法人 全国青少年教化協議会
浄土真宗本願寺派東京教区
基幹運動推進委員会

助成： 日本財団
The Nippon Foundation